



会員企業をたずねる

女性の力、女性の声

このコーナーは、会員企業をたずね、物流業界で働く女性社員に業務内容や、職場の取り組み、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



第38回

日本パレットレンタル株式会社

DX推進センター 主任
五反田 舞さん

PROFILE

2015年入社。人事部で採用、育成、教育を担当。2019年、事業開発部に異動し、中四国エリアの担当として新規開拓をメインに営業に従事。2021年3月から1年間、産休・育休を取得。2022年、復職と同時に現職に異動。現在に至る。インフラ系企業を志望していた就職活動の中で、物流の高い社会貢献度を知り、同社に入社。弓道で磨いた集中力と精神力で、仕事、家事、2歳の男の子の育児にフル稼働中。埼玉県出身。

何事にも妥協しない

——入社後の経歴を教えてください。

入社後は新人研修を経て、2015年7月から人事部で採用や人材育成、教育を担当しました。4年3カ月後、新規営業をメインとする事業開発部に異動し、初めて営業に携わりました。中四国エリアの担当となったため、出張も多く、多忙な日々でしたが、直接お客様とお会いすることは大変勉強になりました。

——現在の業務について教えてください。

DX推進センターは、経営戦略に基づき立案された新規事業やサービスの開発を推進することを目的とする部署です。新規事業に向けて発足されたプロジェクトチームを事務局としてサポートしています。直属の上司である役員と先輩社員、私の3人体制ですが、上司はプロジェクトリーダーも務めていますので、同時並行で進んでいる複数のプロジェクトは、先輩と私が分担して担当しています。少数チームのため、何かイレギュラーが起こった際も業務が円滑に進むようコミュニケーションをとり、互いにフォローし合うようにしています。

——仕事をする上で、どんなときにやりがいを感じますか。

目標を達成したときです。当社では、社員の多様な働き方を推進しており、コロナ化を契機に導入し

たテレワークも定着しています。そうした環境が整っていることもあり、育休から復職するにあたっては、時短勤務ではなくフルタイムを選びました。もともと負けず嫌いな性格のため、何事にも妥協しないことをモットーとしており、仕事も育児も全力で向き合いたいと考えています。限られた時間の中でやらなくてはならないことも増えてきましたが、忙しいからこそ、その時々目標を達成するたびに充実感ややりがいを感じています。

新たなプランを提案できる人材に

——仕事に臨む際に心がけていることを教えてください。

一つは先を見通すことです。新規事業のためのプロジェクトは、何を成し遂げるべきかゴールが見えにくい面があり、大目標から逆算して今やるべきことを決めなければなりません。プロジェクトを円滑に進めるためにも、長期的な視野の必要性を実感しています。

もう一つは周囲の人たちを大切にすることです。復職してから子どもの関係で急な休暇を取ることが増え、ますます大切さを感じています。先ほどもお伝えした通り、大事な日にどうしても休まなくてはいけない場合には、先輩がフォローしてくれます。お互いに助け合える環境が整っているのは大変ありがたいことですし、自分の担当業務の枠を超えた知識を得る機会にもなっています。

——現在、抱えている課題などはありますか。

プロジェクトメンバーの皆さんは、ご自身の業務と並行してプロジェクトに参加しています。それぞれの立場からの意見の相違で、プロジェクト本来の目指す方向から逸れてしまうことがあります。そうした際に、軌道修正するのもプロジェクトが専任である私たちの仕事になるのですが、経験の浅さから、なかなか難しいときがあります。周囲から信頼されるためにも、さらに多くの経験を積んでいきたいと考えています。

——ワークライフバランスについて心がけていることを教えてください。

単身のときに比べ、仕事に費やせる時間は短くなりましたが、その分、頭の切り替えが早くなりました。同時に、時間の使い方もうまくなったと思います。当センターでは、仕事の進め方についてある程度裁量を与えられているので、自分自身で仕事が完遂できるよう予定を組み立てることができますし、夫も私の思いを理解し、協力してくれます。疲れていても、家では楽しく過ごすことを心がけています。

——今後の抱負をお聞かせください。

入社以来、管理、営業、企画と経験してきましたが、当社にはまだまだ多様な業務がありますので、さらに幅広い仕事を体験してみたいと思います。特に、当社事業において主軸となるロジスティクス業務の知識が得られれば、より大きな武器になると考



息子の2歳の誕生日に、大好きなE7系の前で

息子さんとの
オフタイムショット!



上野動物園で



京浜東北線のホームで



買い物先で「さいたまっち」に遭遇!

えています。経験の中で蓄積したさまざまな知識を組み合わせ、新たなプランを提案できる人材になりたいと思っています。

——ありがとうございました。

会社概要

日本パレットレンタル株式会社

本社住所：東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル

設立：1971年12月1日

代表者：代表取締役社長 二村 篤志

資本金：4億9,962万5,000円

社員数：368名(2023年3月末時点)

国内拠点：札幌、仙台、埼玉、東京、名古屋、大阪、福岡(ただし、パレットの貸出し返却拠点であるデポは別途全国に59拠点)(2023年3月末時点)

【事業概要】

日本パレットレンタル(JPR)は、「物流に携わる人々を重労働から解放したい」という思いから、パレットを活用した機械荷役を推進することを使命に生まれた企業。現在、レンタルパレットを約1,100万枚保有し業界のリーディングカンパニーとして物流の効率化に寄与している。最近では、物流DX推進にも取り組んでおり、紙伝票の電子化、共同輸送マッチングサービスなど、「標準化」と「共同化」をキーワードに事業を展開している。

